

科目名	音楽	科目コード	40360
-----	----	-------	-------

学科名・学年	全学科・1年
担当教員	長谷川 紀子
単位数・区分	2単位・必履修・履修単位科目
開講時期・時間数	通年，56時間【内訳：講義60，演習0，実験0，その他4】
教科書	毎授業時に、資料、プリント、楽譜を配布する
補助教材	ジョン・ケージ「プリペアドピア」(CD) 「シャルルドウトワの青少年に贈る音楽辞典」ビデオ グレゴリア聖歌(エリザベート音楽院)
参考書	

#### 【A．科目の概要と関連性】

音楽を 表現 感性・感覚 創造、創作、研究 の各方面からとらえる。

#### 【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・到達目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
音、音楽の本質を学ぶ。	- %	a1
その上で、音と音楽が人間にどのように作用、影響するかを理解していく。	- %	a1
音楽を通して人間の役割りを考える。	- %	a1

#### 【C．履修上の注意】

音を広い範囲から見つめ直しながら自分を探しだすようにして行ってほしい。授業毎に課題をする。

#### 【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

課題の評価(80%)

定期試験・その他(20%)

【E. 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	「縄文の音と心」(ビデオ)	
2	縄文人の音感覚	
3	「春」にちなんだ音楽(詩と音楽)	
4	音の性質	
5	音の分類(いろいろな種類の音を認識し分類してみる。)	
6	倍音・純正律	
7	前期中間試験	
8	平均律の周波数の比と値の計算(研究)	
9	音楽辞典「音楽の歴史がはじまった・イタリア ウェネツィア」	ビデオ
10	イタリア語の歌	
11	グレゴリア聖歌を歌い楽譜(記譜法)の読解をする。(研究)	
12	サウンドスケープ(感覚)	
13	音楽辞典「音楽の故郷・ドイツ ザクセン州」	ビデオ
14	ドイツ語の歌	
-	前期末試験	
15	ドイツ語の歌	

後期

回	内容	備考
1	鑑賞(音楽会の情報も含めて)	
2	各国の民族音楽、各時代の音楽をききながら	
3	音楽辞典「新しい音楽を求めて・パリ」	
4	音楽辞典「シェークスピアからビートルズ・イギリス」	
5	日本と外国の音楽の相違点	
6	クリスマスの音楽 モーツァルト「レクイエム」	
7	後期中間試験	
8	日本各地の伝承芸能(ビデオ)	
9	日本各地の伝承芸能(ビデオ)	
10	人間の感覚の機能を理解しながら音楽の本質的なものを探求していく。(研究)	
11	人間の感覚の機能を理解しながら音楽の本質的なものを探求していく。(研究)	
12	各人の興味あるテーマを調べまとめる。(研究、表現)	
13	各人の興味あるテーマを調べまとめる。(研究、表現)	
14	各人のパフォーマンス(表現)	
-	後期末試験	
15	各人のパフォーマンス(表現)	

